



平成18年9月23日秋の茶会にお手伝い頂いた方
加藤瑞枝さん、杉浦きく子さん、岡田さとえさん、鈴木やす子さん、谷山ふじ江さん

四誓偈（しせいげ）

「四誓偈」は浄土三部経のうち『無量寿経（むりょうじゅきょう）』の中にある偈文です。

阿弥陀仏の前生を法蔵菩薩といいます。法蔵菩薩は世自在王佛の御前で48の願を立てられ、これらをまとめ、4つの誓いを立てられました。

浄土宗ではこの文を「四誓偈」と呼んで、日々拝読させて頂いています。

一行ずつ紹介します。

離欲深正念（りよくじんしょうねん）

読み 離欲と深正念と（りよくとじんしょうねん）

意味 欲望を離れること、正しく精神統一することと、

浄慧修梵行（じょうえしゅぼんぎょう）

読み 浄慧との修梵行をもって（じょうえとのしゅぼんぎょうをもって）

意味 浄らかな智慧をきわめることとの、これらの清浄な修行につとめることで、

志求無上道（しぐむじょうどう）

読み 無上道を志求して、（むじょうどうをしぐして、）

意味 心からこの上ない覚りを求めて、

為諸天人師（いしよてんにんし）

読み 諸もろの天人師とならん(もろもろのてんにんしとならん、)

意味 多くの天界の神々の導師となりましょう。

神力演大光(じんりきえんだいこう)

読み 神力大光を演べ(じんりきだいをのべ、)

意味 仏は、はかり知れない力で大いなる光を放ち、

普照無際土(ふしょうむさいど)

読み あまねく無際の土を照らし(あまねくむさいのどをてらし)

意味 果てしない世界をあまねく照らして、

消除三垢冥(しょうじよさんくみょう)

読み 三垢のやみを消除して(さんくのやみをしょうじよして)

意味 三つの垢(貪り・怒り・愚かさ)の闇を取り除き、

広濟衆厄難(こうさいしゅやくなん)

読み 広く衆もろの厄難を濟い(ひろくもろもろのやくなんをすくい)

意味 多くの厄難に苦しむものを救い、

開彼智慧眼(かいひちえげん)

読み かの智慧の眼を開いて(かのちえのまなこをひらきて)

意味 彼らの智慧の眼を開いて、

滅此昏盲闇(めっしこんもうあん)

読み この昏盲の闇を滅し(このこんもうのやみをめっし)

意味 その暗い闇をなくし、

閉塞諸悪道(へいそくしよあくどう)

読み 諸々の悪道を閉塞して(もろもろのあくどうをへいそくして)

意味 多くの悪しき世界を閉じ、

通達善趣門(つうだつぜんじゅもん)

読み 善趣の門に通達せしめ(ぜんじゅのものにつうだつせしめ)

意味 善き世界に導き、

功祚成満足(くそじょうまんぞく)

読み 功祚満足することを成じて(くそ、まんぞくすることをじょうじて、)

意味 福德を完全に満たして、

威曜朗十方(いようろうじっぼう)

読み 威曜十方に朗らかなり(いようじっぼうにほがらかなり)

意味 その威厳ある輝きを十方にまでいきわたらせます。

日月収重暉(にちがつしゅうじゅうき)

読み 日月重暉を収め(にちがつじゅうきをおさめ)

意味 そのため太陽と月の輝きは見えなくなるほどで、

天光隠不現(てんこうおんぷげん)

読み 天光も隠れて現ぜず(てんこうもかくれてげんぜず)

意味 天界の光さえも隠れて消えてしまうでしょう。

続きは次回(※経文傍訳浄土宗読誦聖典を参照しました)

秋の茶会

9月23日、秋彼岸法要の日に檀信徒会館にて秋の茶会を開催しました。華頂婦人会の役員の方が、お運び、お点前をして頂きました。ありがとうございました。



平成18年9月23日 秋の茶会で抹茶を飲まれている檀信徒の皆さん

詠唱全国大会

10月5日の知恩院吉水講全国大会に、普仙寺より、黒柳花子さんと、谷山きくさんと、神山和子さんが参加されました。

住職加藤良光は、役員として10月4日5日の2日間奉仕させて頂きました。



平成18年10月5日 知恩院吉水講全国大会に参加しました

東海地区檀信徒大会

去る9月28日、岐阜県大垣市で開催された、第35回浄土宗東海地区檀信徒大会に、三河教区豊橋組理事の神山盛二さんと参加しました。



平成18年9月28日 浄土宗東海地区檀信徒大会に参加しました

800年前の法然上人

今から800年前、建永元年(西暦1206年・4月27日改元)の9月、法然上人の周辺ではどのようなことがあったのでしょうか。

藤本了泰著『浄土宗大年表』には、今月の記事はありません。

寺行事案内

土曜礼拝（どようらいはい）

毎週土曜日 午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

10月14日からは

- 前編第9章 安心

月並法要（つきなみほうよう）

平成18年11月8日（水） 午後7時より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。